

全佛婦

No.121

2015年夏号

7月1日発行

しなんにも
しなんにも
な生きよう
生きよう



公益社団法人
全日本佛教婦人連盟

本多良之師 表紙画

全佛婦121号

平成27年7月1日 発行日

広報委員 編集人

末廣久美 発行人

発行所

公益社団法人 全日本佛教婦人連盟

〒151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷

4-5-10-205

03-5772-0677 電 話

<http://jbwf.jp/> URL

info@jbwf.jp MAIL

円相

臨濟宗相国寺派 管長
京都仏教会 理事長

有馬 賴底



禅宗ではよくこの円相を書きます。円相は字なのか、それとも絵なのかとよく言われます。分類上から言えば絵になるのかもしれません、しかしそういう区分はどうでもよいことです。

空・風・火・水・地といつて、世界を構成している五つの要素があります。この五つの要素を一筆で書くと円になります。宇宙全体の姿、世界の究極の形を最も簡略に描くと円になるというのです。しかしここではそういう学問的な詮索はさておいて、もつと身近なところからこの円というものを考えてみたいと思います。

丸い豆腐も切りようで四角、という言葉がありますが、人間どうも角ばったらいけません。特にお茶の世界では、どういうものか、ついつい角が立ってきます。流儀がどうの、道具がどうの、点前がどうのと、まことにうるさいことを言います。お茶は「和敬静寂」をモットーとしているながら現実にはそれとはほど遠い角ばった世界となっています。

それはなぜでしょうか。人間には自我心というものがあります。私が、おれが、という「我」が出てくると、どうしても角がたちます。自分と他人とを区別して、自他を対立させてしまします。しかし突き詰めて考えれば、もともと対立などないのです。ないものを無理やりこしらえて、自他を区別して、自分はこうだ、他人はああだというふうに、おのれの我見に固執するから、角が立つのです。ですから、そういう角をだんだん取り除いていくと、結局は、

今までなぜ争っていたのか、どうしてあんなに張り合っていたのかがわからなくなります。それが人間が円くなる（円満になる）ということなのです。

ところで、この円相を、お茶ではよく追善などに使います。それはいわゆる墓地の卒塔婆、つまり五輪の塔が空・風・火・水・地をあらわしており、その卒塔婆の形を集めしたものが円相である。したがって円相を仏事、法要に使うということになってきたのだと思いますが、しかし本来の意味からすれば、円相を仏事、法要に限ってしまうことは感心しません。むしろ逆に、もつとおめでたい、喜ばしい席にどんどん使つていただきたい。そして円相を拝見して、その円相の境地になつてほしいと思うのです。どこにも切れ目のない円い世界、そういうものをを目指して、福德円満な人格になつていかなければならぬと思うのです。

全日本仏教婦人連盟は仏教を支えにご婦人の融和をはかり、里親支援や花の種活動といった、地道で息の長い取り組みをされています。山本杉さんの頃の志が今も途切れることなく伝わっていることを嬉しく思うと同時に、集まっておられる皆様方に頭の下がる思いです。人間迷いが出たら心の中で「一掃除、二信心」と繰り返し言つてみて下さい。そして身体を動かし近くを掃除してみて下さい。不思議に心身が楽になると存じます。

貴連盟のさらなるご発展を祈念いたします。

合掌

私の失敗を我が過ちとして詫びてくれた兄弟子たち

現在、薬師寺の管主のお役目をいただき、若い僧侶たちを指導して叱ることもある私ですが、これまでの人生にはたくさん失敗を重ねています。

それどころか今もつて失敗する事とも多く、反省と自戒の日々は続いておりますが、やはり若いころは未熟なこともあります。より多くの失敗をしてかしました。

私が大学生のときのことです。あるお正月、先輩のお寺で新年の会が催され、師匠である橋本管主以下、薬師寺の僧侶がみな招かれました。私もお供いたしまして宴席に出たのですが、普段はいただけないご馳



ただくことになったのです。

と、口々にお詫びしてくださったのです。

私の失敗をみなで引っかぶり謝つて
くださいました。その姿に感動すると
ともに、私の反省はさらに深くなり
ました。

このままでは、私がお許しいただ
けないどころか、寺全体に迷惑をお
かけすることになってしまいます。失敗
した私が責任を取らなくては。

橋本管主に再度お詫び申し上げた後、意を決して申し上げたのです。
「では、帰らせていただきます」
するとどうでしょう。橋本管主は
「もう遅いから、今ごろ電車ないやろ」

とだけおつしやられたので許された
と思い、みな各自の部屋に戻りました。
した。

とだけおっしゃられたので許された
と思い、みな各自の部屋に戻りました。
した。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

あのとき橋本管主に

「歩いて帰れ！」

と言われていたら、今の私はありません。
せん。

橋本管主が私をお許しくださった
のは、私が心から反省しあ詫びした
だけでなく、兄弟子たちが私をかばつ
て必死に謝つてくださいつたおかげだ
と思います。

あれから50年以上たつた今も、橋本管主のお怒りのご様子、兄弟子たちの優しさが、まざまざと蘇り、そのたびに深い感謝と反省の念でいっぱいになります。

あれから50年以上たった今も、橋本管主のお怒りのご様子、兄弟子たちの優しさが、まざまざと蘇り、そのたびに深い感謝と反省の念でいっぱいになります。

目下の者の失敗をわが過ちとして詫びられる、
そんな人間になりたいのです。

目下の者の失敗をわが過ちとして詫びられる、
そんな人間になりたいのです。

【安田胤胤師】 昭和13年岐阜市生まれ。昭和25年12歳で出家し、薬師寺に入山。橋本凝胤師の薰陶を受ける。昭和37年龍谷大学大学院修士課程修了。昭和38年宗教者平和使節団員としてローマ法王との謁見を始めヨーロッパ各地の宗教者と懇談。昭和39年名古屋大学学術調査隊員としてアフガニスタンを踏査。昭和42年薬師寺執事長就任。平成10年に薬師寺副住職、平成15年、薬師寺管主となり、現在は薬師寺長老。公益財団法人国際仏教興隆協会理事長。



平成27年度総会開かれる



ただきました。孝道教団のお教えや、子どもたち・女性たちの仏教徒としての育成に力を尽くされているお話をなど興味深くうかが

記念撮影のあと、職員の方々に本仏殿の建築や堅山南風画伯制作の壁画について丁寧なご説明を受けました。

ていく時代を見据えた仏教活動の在り方を常に念頭におかれ、これらからの宗教はあらゆる教えや人種、心の壁を超えてゆかなくてはならない、というお言葉に感銘を受けました。

会員29名が出席、また142通の委任状提出により総会成立が宣言されました。



ありました。多くの若者に仏教を身近に感じ、より広く知つてもらうための活動の重要性が、近年とみに増してきたことに対応するためです。

会員29名が出席、また142通の委任状提出により総会成立が宣言されました。

総会会場の大黒堂会館に移動し、昼食のあと、2世副統理よりご法話をいただきました。変化し

本連盟の第3回総会が6月2日（火）11時より横浜市の孝道山本仏殿にて開催されました。

を正しく理解し日常生活の中にとり入れることを目指す孝道教団の総本山で、今回の会場としてお借りすることができました。

まず、本仏殿（本堂）におきまして御導師・岡野華蓮3世副統理、脇導師・岡野鄰子2世副統理のもと法要が執り行われ、一同、般若心経を唱詠。

議長・議事録署名人の選出に
引き続き、花岡理事より26年度
事業報告、事務局より決算報告、
木村監事より監査報告があり、
ついで役員の改選、平成27年度事
業計画および予算が報告され、無
事閉会いたしました。

今回の総会中しばしば話題にのぼつたのは直前にネパールで起きた地震についてでした。被害を受けた仏教施設などの映像は特に大きな衝撃を与えました。

へえ！ そなんだ

生活の中の仏教用語 1

觀察【かんさつ】

小学生の頃、夏休みには「アサガオの観察日記」をつけたり、「トノサマガエルの観察」を宿題として提出したりした。少し大きくなって、こんどは自分が「保護観察」処分になったりして、他人さまに観察されたりする。なかなか忙しい世のなかだ。

この観察（仏教語としては、かんざつ）は、めずらしく長い歴史をへた今日でも、本来の意味とあまり変化していない。本来の意味は、思考・反省・観察・判定・研究などを指した言葉である。観察する場合、「私」の感情を加えないこと、つまり、純粋に客観的に物ごとを見ることが重要である……などという。しかし、そうはいってもあるがままに見る「私」の個人差、つまり、その人の能力・訓練の度合・個性・感情・感覚が皆違うのであるから、現実的には「あるがまま」にいくら努力してみても、自ずから限界がある。

自然科学の場合、個人差をなくすために種々の器具を用い、ある程度客觀性をカバー出来る。しかし、宗教や文学、哲学などの人文科学の場合、器具を用いて客觀性をカバーすることは、まず不可能である。何故なら、その観察すべき対象は個々の内面であるからだ。止觀（座禪）という場合、雑念を払って心を観察することであり、また淨土門の実踐行の一つ観察門も、智慧によって阿弥陀の淨土のありさまを観察することである。いずれも心の内側のことである。

自然科学は、学問の積み重ねがきくから、ピタゴラスの定理も小学生が当然の如く通りすぎ、ついには人工衛星が飛びまわるところまでゆく。しかし「悟り」の如きものは、本人が死ねば、後の人人は一から追体験しなければならず、両者の差は現在歴然たるものがある。

◆新役員ご紹介◆

(任期平成27年6月2日から2年間)

理事長	末廣久美
副理事長	
常務理事	
篠田節子	
河原時子	
岩脇孝子	
本多端子	
梨本三千代	
松井百合子	
<hr/>	
監事	理事
湯浅正江	小峰喜和子
大橋百合子	花岡眞理子
桶屋良法	
長尾節子	
日比野郁皓	
鈴木トヨ子	
佐々木公子	
木村匡成	

書籍玄明著『生活のなかの仏教語』(1995年3月、すずき出版刊)より



「家庭」が話題になつてきました。特に子どもたちのいる家庭の貧困率が相対的に上昇してきたのです。学校現場では就学援助費受給者、給食費・教材費などの未納家庭の増加を生み出しました。さらに経済力の差で上級学校への進学を諦めざるを得ない状況も生じてきました。このことを裏付ける調査があります。文部科学省委託研究「平成25年度全国学力・学習状況調査の結果を活用した学力に影響を与える要因分析に関する調査研究」（お茶の水女子大学）によりますと、

「家庭の社会経済的背景が高い児童生徒の方が、各教科の平均正答率が高い傾向が見られる」さらに「保護者の教育投資額が高いほど子どもの学力が高い傾向が見られる」とあります。また、東大生の保護者の年収は大半が一千万円以上というデータが話題になつたことも含めて、所得や教育投資の差が学力や進学に影響していることが証明です。また、大学や高校を止むを得ず中退する生徒、学生が増えているそうで、それも経済的理由によるものが大部分とのことです。経済的理由での中退者は、断腸の思いにかられ涙が止まらないと教師が述べていました。これらは極めて重大な事態です。

子どもには無限の発達可能性や潜在的な才能、能力が埋もれています。その才能や能力は学習や体験などで引き出されることは、教育に携わった者には十分実感できます。

子どもの貧困対策大綱の具体的で且つ早急な実施が望まれます。国の借金が一千兆円あるという現在、安易に税金投入は困難という声もありますが、税金を私費の如く遣っている政治家がいるのにも拘らず、それを規制する動きもないことを考えると、あるところにはお金が余っている証拠です。即ち、タックスシェアリングを

すれば十分可能なことです。

国の施策と並行して私たち一人ひとりに出来る事はないでしょうか。

昔から苦学生に援助の手を差し伸べる制度はありました。国や地方自治体、新聞社始め民間企業の奨学金制度です。今日では高校生の授業料や中学生までの医療費の無料化など福祉が拡大してきます。しかしこれらはハードルが必ずしも低いとは言えません。制度を「知らない家庭も現実にあり、自治体やNPOが専門家を招いて、制度の理解や書類の書き方などの支援をしているのは広く知られています。また、宗教界が様々な募金活動などの支援をしているのは広く知られています。加えて、個人としての寄付活動の輪が広がることも期待したいものです。

我が国の未来を担う子どもたちのためには、夢や希望のもてる社会の実現、「学びたい」という彼らの願いを実現させるのは大人の義務です。私たちが今日あるのは、当時の大人が知恵を絞って学ぶ機会を設けてくれたからです。昔から「かけた情けは水に流せ、受けた恩は石に刻め」という言葉があるように、大人から子どもへのよい連鎖を続ける、それが成熟した社会といふものでしょう。

子どもの貧困

「学びたい！」の声に応えよう

台東区ことぶきこども園 元園長 湯地和夫

今子ども達がおかれている環境は……！

社会では…… 教育現場では……

家庭では…… お聞きしました。



「児童は、よい環境の中で育てられる」これは昭和26年5月5日に制定された「児童憲章」の前文です。
昨年7月に厚生労働省は、子どもの貧困率※が16.3%（2012年）となり、過去最悪の数字を示したと発表しました。即ち日本の子どもの約六人に一人が相対的な貧困層に分類されること、更に子どもがいて大人一人の世帯の貧困率は5%を超えているというものです。そこで政府は、親から子への貧困の連鎖を防ぎ、教育費の負担軽減や親の就労支援などのため、昨年8月「子どもの貧困対策大綱」を策定しました。子どもの貧困率の上昇は経済格差を感じ、学力や就労の格差につながります。

私は宮崎県の日南市で生まれ育ちました。子どもの頃（昭和20～30年代）は、豊かな家庭はごく一部で、大部分の家庭が貧困率※が16.3%（2012年）となり、過去最悪の数字を示したと発表しました。即ち日本の子どもの約六人に一人が相対的な貧困層に分類されること、更に子どもがいて大人一人の世帯の貧困率は5%を超えているというものです。そこで政府は、親から子への貧困の連鎖を防ぎ、教育費の負担軽減や親の就労支援などのため、昨年8月「子どもの貧困対策大綱」を策定しました。子どもの貧困率の上昇は経済格差を感じ、学力や就労の格差につながります。

Memo

※貧困率とは、世帯収入から国民一人ひとり順番に人ひとり所得を試算したとき、真ん中の貧困線（貧困線）に並べたとき、所得の半分（18歳代半ば）に届かない人の割合を指す。

幼稚園 からの 学びを繋ぐ

公益財団法人 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構理事長
田中雅道

新聞等で、学力低下問題が報道されている
のででしょうか。また、何が、どう低下して
いるのでしょうか。このような報道は、OECD
（経済協力開発機構・EU加盟国を中心
として日本、アメリカ、カナダなどの自
由主義経済圏の先進34ヶ国で構成されてい
る組織）のPISA調査（生徒の学力到達
度調査）の結果をもとに行われています。
PISA調査では、15歳の生徒を対象
に、読解力、数学的リテラシー及び科学的
リテラシーを評価すると同時に、生徒の興
味・関心、態度及び動機付けなどの幅広い
要因についても測定しようとしています。
そして、学校で教えてることをどれだけ
習得しているかというよりも、知識や技能
を使つて実生活で遭遇するような課題を
解決することのできる能力に焦点を当て、
この課題解決能力を“リテラシー”と定義
し、それを測定することを問題作成の根幹
においています。

では、OECDが、なぜ学力調査を行つ

ているのでしょうか。それは、EUを中心
とする先進国で増え続ける失業問題が大
きな要因です。EUでは、大学を卒業して
も失業してしまう若者が増加しています。
社会が高度化している中で、教育がどこま
でその高度化に対応しているかが問題に

なっているのです。
それぞれの国では、国語、算数・数学、
社会、理科などの領域（教科）を定めて
習得するべき課題を、効率よく記述した
教科書を使って教えたことを、“どれだけ
正確に理解しているか”という観点で学校
教育を行つてきました。“教えたことを正
確に理解しているか”という定義だったのです。
ところが、高度に進んだ社会では、新たな要
素を加えた新しい“かしこさ”が求められ
ています。もちろん、社会人として基礎的
学力を有していることは必要ですが、コン
ピューターが誰でも使えるツールとして一
般社会に入り込んでくると、今まであつた
多くの仕事は、コンピューターやロボット
で十分に出来るようになつてきています。
持つてある知識を使って、自分が向き
合つている課題を解決する”という新しい
能力を育てなければならぬという新たな
課題を育てる指標としてPISA学力
テストが開発されたのです。

ある時、年長の子どもたちが、大きなス
コップを持ちだして熱心に砂場を掘り始
めました。掘った砂を積み上げていると大
きな山が出来上がり、その山のてっぺんか

ろうと思つていてることに応用する能力は、
小学校以降の教育では重要視されてきま
せんでした。そのため、日本の幼稚園で日
常的に行われてきたこの事例のような遊
びは、大きな注目を集めることはありませ
んでした。

園児が主体的に遊びを深めていくこと
の重要性は、幼稚園の内輪世界では当然の
こととして大切にしてきたのですが、そこ
で育つてることについて、保護者の方々
に十分に伝えきれないなかつたのではないか
といふ思つてします。先ほどの砂場のよう
な遊びが成り立つためには、”子どもが自
由に使える園庭”が必要ですし、園庭があ
つたとしても、小学校の内容を教え込む
という時間が長く、”子どもたちだけで活
動する時間”が無ければ、上記のような学
びを習得することはできません。”公園が
近くにある”から園庭が無くても幼稚教育
はできるといふ考えは成り立たないので
す。知的好奇心を持った子どもを育てるに
は、”いい環境” “いい教師”が必要不可欠
なのです。

OECD諸国では幼稚期を起点とする
新しい学力観を重視しています。そし
て、全ての子どもが必ず良質な幼稚教育を
受けられるよう、幼稚教育は無償であるべ
きという考えが主流なのです。



環境シリーズ①

水は宝物

子供たちに綺麗な地球を残していきたい。

そのためには何ができるのだろう。

まずは私たちの生活中で一番身近にある

「水」について色々と調べてみました。



「水」について調べてみると本当に知らないことばかりでした。私たちは特別有難いと思うこともなく水道から蛇口をひねつて水を飲み、皿を洗い、洗濯をし、時にシャワーを出しつぱなしにしましたシャンプーをしています。

世界では
毎年180万人の子供が
「水」が原因で
亡くなっている。

安全な水がない国々では、毎年180万人もの子供が、非衛生的な水に起因する病気で亡くなっています。

『1km以内に一人1日20リットルの水を確保できる場所がある』という事が人間が生きていく上で必要な最低限の目安(WHO「世界保健機関」の定めた基準)です。

1kmの距離を歩くと片道15分なので、生活に必要な水を得るのに毎日往復30分、家族全員分を運ぶのに、例えば4往復必要なら

2時間以上の「水汲み労働」が必要になります。そして多くの途上国では、水汲みは女性や子供たちの仕事とされています。私だつたら筋肉痛と腰痛で次の日起きられないでしょう。

しかし、その「最低限の目安の水」すら得られない人が、世界には9億人もいるそうです。

地球にある水の量は
100年たっても、
100万年たっても
変わらない。

地球の水は、恐竜のいた頃からなっています。

『1km以内に一人1日20リットルの水を確保できる場所がある』という事が人間が生きていく上で必要な最低限の目安(WHO「世界保健機関」の定めた基準)です。

もしかしたら今飲んでいるお茶は5年前にアマゾンに降り注いだ雨水かもしれない。100年前のインドのティーポットの湯気だったかもしれない。そして1万年前の川の水かもしれないわけです。

雨水を1リットルのペットボトルに置き換えるとすると、使用できる水は1滴にもならない量なのだそうです。

私たちが使える淡水の量はとても少ない

地球のすべての水を100%と繰り返し巡っているということは、普段蛇口から新鮮な水を使っているとついつい忘れてしまいがちな事実です。

もしかしたら今飲んでいるお茶は5年前にアマゾンに降り注いだ雨水かもしれない。100年前のインドのティーポットの湯気だったかもしれない。そして1万年前の川の水かもしれないわけです。

汚されていく大切な水

その貴重なわざかな地球の水が、今どんどん汚されています。工場の排水や下水をそのまま海に流している国もあります。下水一つにしても昔と違つて殺虫剤や肥料、洗剤などの化学物質を沢山含んでいます。東日本大震災時には原発事故で大量の汚染水が海に廃棄されました。

そして、排気ガスなどの汚染された空気は汚れが生まれたところから遙か遠くまで運ばれ、雨となつて降り注ぎます。水も空気もすべて地球の中で循環しているということは、「汚染物質も一緒に循環する」ということになります。

汚染された水は水がないのと同じ

飲み水の事だけでなく下水のもとも大切です。昔、東京でもあまりに急速に人口が増加した時、井戸水に污水が混ざつてしまつたそうです。上下水道が普及して污水と混ざらなくなつた事

で、コレラや赤痢といった伝染病が劇的に減少しました。水は汚染されていたら、「水がないのと同じ」だということです。

この日本でさえ下水道普及率は約70%にとどまっています。飲み水にはお金を出しても下水にお金を払うには抵抗があるという感覚は、途上国でも先進国でも変わらないそうです。

私たちは、なかなか「人間が汚した水を綺麗にしなければ安全な水は手に入らない」という事を実感できないのかもしれません。

水は環境問題の根本

地球温暖化で降雨のパターンが従来と変わると、渴水や洪水が起きやすくなります。「水」について調べていくと、水の問題はすべての環境問題や社会問題と切り離すことができない根本的な問題ですることもわかつてきました。

そのとても大切な「水問題」では、果たして私たちは一体どうしていけばいいのでしょうか。次回はこのことをもつと考えてみたいと思います。

ひと粒の種

3月のお彼岸そして4月には各地で花まつりの行事があります。

16年度から始めた花の種運動ですが、今年度からリーフレットのデザインを一新、環境問題としての「水」を取り組み、種を付けて配布いたしました。

感想等のご意見が多く寄せられ、この運動の励みになりましたので一部ご紹介いたします。

「改めて水のことを知りました。もっと知りたいですね。」

「ある絵本を読み聞かせしたところ、園児たちが種をまいて植物を育てるこに関心を持っています。」

「活発な活動を期待し、皆の心にも花が咲きますことを祈って。」

「仏教会の花まつり行事に参加した園児父兄が喜んでおります。」

花が咲いた写真などをお送りください。お待ちしております。

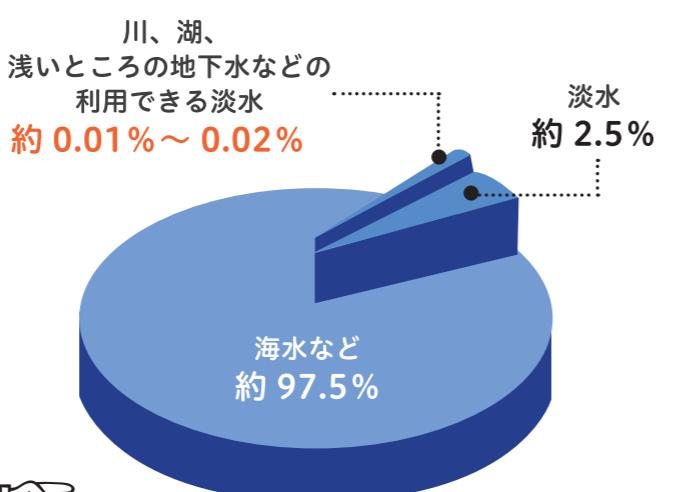
(事務局)



地球を舞台に繰り返される壮大な自然のサイクル



study 水は常に循環し、大気の水分で**12日**、河川の水は**10日**で全て入れ替わります



study

地球上にある水の約97.5%は海水などで、淡水（真水）は約2.5%しかありません。しかも、この淡水の大部分は、氷や氷河として存在しており、さらに、残りの淡水のほとんどが深いところにある地下水で、川や湖、浅いところにある地下水などの私たちが利用できる水の量は、地球上の総水量のわずか約0.01%程度にすぎないといわれています。

《参考URL》<http://mizuiku.suntory.jp/kids/study/m001.html>
サントリー「水育」地球の水の問題

全日本佛教婦人連盟では、今年度から「環境問題」に取り組んでおり、「環境問題」というと大仰ですが、身近なところから「子供たちの未来のために」少しずつでも何か出来る事はないかを考えていきたいと思っています。



想

い起こせば何年前になるでしょう

か。昭和五十九年十一月八日印度ブッダガヤの大塔から印度山日本寺に向かつて、日本より参加された大勢の方々によるお練り、そして日本医療センター（後の光明施療院）の落慶式が厳修されました。

昭和五十五年、当時の国際佛教興隆協会巖谷勝雄理事長から当連盟の故山本杉理事長に、光明皇后様の故事にならつてインドの地ブッダガヤの日本寺の付帯事業の一つとして診療所の建設を日本の佛教婦人の手によつてお願ひしたいと言うお話がありました。山本理事長は、大賛成で早速いろいろな方々と相談しながら人間関係のむずかしさの中で決定致しました。

その当時、興隆協会にはもう一つの付帯事業としてすでに幼稚教育（菩提樹学園）が、日本佛教保育協会の献金によつて建設され有意義な活動をしておりました。お話をりますと全国の園児達に10円募金をお願いして建設されたと伺つております。

当連盟でも、早速興隆協会の中に事務局を置き、日本の佛教婦人の手で建設をという名のもとに、全日本佛教婦人連盟を含めた全国の1人でも多くの佛教婦人にかかわつて頂きたく全日本佛教徒婦人が



一枚の写経から

公益社団法人全日本佛教婦人連盟 顧問 林 惠智子



「仏教は実践の宗教を頂きこのテーマのもとに実践活動が無ければ意味がない」という山本理事長の考えで高額な寄付金は寄付として頂き、佛教婦人はそれぞれの実践行動として写経をし、その一枚に千円と言う奉納金をつけて頂くこの方式で実践活動の伴う募金活動が始まられました。その写経は、印度山日本寺の宝篋印塔に香の煙と共に納めし永遠の祈願をして、お預かり致します。どのような事があつても佛教婦人の手で印度に医療センターを建築しようと決心されて始めた山本理事長の心境が今改めて想い出されます。

紅白の幕に包まれて華やかにテープを

切つて落された莊嚴なまでも輝かしき一條智光御上人導師の落慶法要、数珠を片手に黙して頭を下げる時、一佛教婦人の身になつて物事を考へた時こそ仏教の実践活動が生きて来るよう気がしてなりません。どんな小さな事でも私たちの出来る事をひとつひとつ行う事によって、人と人との心の和が保ち得るこの運動によつて、自然に感謝をし相手の身になつて物事を考へた時こそ仏教の実践活動がここに生かされた時との尊さ、一枚一枚に心を込めて書く写経と言う実践活動がここに生かされた時の喜び、法要に参加した方々の笑みを浮かべて流した涙こそ真の涙であり心の涙であろうと、改めて実践運動を続けなければと痛感しております。

雄大な美しい大自然の地、広々とした大地に遠く近くそびえる大塔の景色は、今では想像すら出来ないほど変化はしているが、釈尊の教えだけは人々の心中に息づいていることを思う時、信をふまえての眞実の運動が必要かと思ひます。

一枚一巻に起きて書きましたと壱千巻をお送りくださった方、これで私は壱千巻と言ひながらも事務所に届けて下さった方、広告の裏に書いて送つて下さ



る方々等、ここに記す事は出来ませんが心に残る想い出はつきません。一人一人のお力によつて今日を迎えてることに深く感謝しながら、今は故人となられた多くの方々に心より御礼申し上げます。

この運動によつて、自然に感謝をし相手の身になつて物事を考へた時こそ仏教の実践活動が生きて来るよう気がしてなりません。どんな小さな事でも私たちの出来る事をひとつひとつ行う事によって、人と人との心の和が保ち得るこの尊さ、一枚一枚に心を込めて書く写経と言う実践活動がここに生かされた時の喜び、法要に参加した方々の笑みを浮かべて流した涙こそ真の涙であり心の涙であろうと、改めて実践運動を続けなければと痛感しております。

一枚一枚の写経が佛教婦人の手によつてこれからも末永く日印友好の為に続けられる事を願いながら筆を置きます。

Report of Culture lecture

文化講座報告

知識や教養だけではなく、実のある生き方を教示された“仏さまの智慧”を学ぶことを目指し、様々なジャンルの講師の方を招いて東京谷中天王寺で開催している文化講座。第87回から第90回までの講座のご報告をいたします。

第87回文化講座

「お抹茶のいただき方」

1月21日(水) 午後2時~

「お抹茶のいただき方」を当連盟常務理事の岩脇孝子・松井百合子両姉の指導のもと、30名の参加者がお茶のお点前の体験を含め、美味しいお茶とお菓子を十分に堪能しました。

◎お茶をいただくための持ち物及び水屋での準備

- ① 懐紙、楊枝、帛紗、扇子を数寄屋袋の中へ
- ② 抹茶を茶こしきでこす（点てたときだまにならないために）
- ③ 黒文字を水に浸けておく（お菓子が食べやすいために）

お茶室に入るときは、後の方に（お



第89回文化講座

「子守唄に導かれて」

4月15日(水) 午後2時~

4月15日、「子守唄に導かれて」と題して、NPO法人子守唄協会理事長西館好子氏から講演を頂きました。

子供の虐待、女性や青少年のいじめ等様々な事件が起こる中、西館氏は還暦を迎えた時、人のために生きたいと思われたそう

です。その時、子守唄の研究家で詩人の松永伍一氏から子守唄を研究したかったら日本中を歩いて10子守唄を見つけてきて下さいと、言わせ全国を探し回る中で、次のことと思いました。

① わらべ歌、唱歌は脳の回線と繋がっていき認知症を直す
② ゆっくりとした旋律の唄は、人間の心を育てる
③ スマホ、刺激的な音、興奮状態の曲は、暴力的になる

また、子守唄が消えたころから、色々な犯罪、うつ病や精神を病む病気が増え、家庭内での子供の居場所が無くなつていった事、今の



時代は中庸（中間）が無くなりバランスが崩れ、平等に物事が保てなくなる中において、子守唄は即興曲であるけれど、人間を普通に育てゆく事の表われと話されました。

各地に伝わる子守唄をご紹介しさいました。中でも代表的な五木の子守唄は、江戸時代に幼子が家庭の事情により子守奉公に出された情景を唄つた、悲しい旋律の唄。また、子供に唄を歌いながら、人間は皆同じだよ、差別をなくして下さいました。

そうようと唄つたお母さん達の応援歌的なものもあると話され、これら口伝えで伝承されてゆく文化の歴史の大切さを伝えて下さいました。

（松井記）





今日は震災の月命日です(5月11日)。

地面が大きく揺れ、家も突き動き壁が落ち屋根瓦も流れ、まさに地獄絵図でこの世の終わりかと覚悟したものです。東日本大震災から丸四年が過ぎ復興も東北魂でみんな頑張っています。国の取り組みは勿論ですが、全世界からの御支援、各団体、ボランティアの方々の応援や御協力が有ってこそこの復興と感謝しています。

震災後、体調をくずし日大板橋病院に通院し子宮全摘、内臓下垂手術を即行なって頂きました。現在一日一日生命の大切さを感じ暮させて頂いております。主人を震災一年前に亡くし、般若心經、写經での供養の日々でございます。

そんな折、全日本佛教婦人連盟さんとつながりを得てご縁を感じています。中でも文化講座のご案内有り難くうれしく参加させて頂いています。先日は「青年僧と語らう」でした。

大変興味深くお聞きしてみたいこと多く有りましたが、ご紹介の折から青年僧とは言え修行を積んだお坊さん方を目のあたりにして威厳と静けさが「どーん」と身体の中に入って安らぐものを感じ不思議な空間でした。

来年主人の七回忌を迎ますが墓守りとして子供もおらず今後の事を思案しています。「永代供養」のお話し大変参考になりました。

生きている限り問題も多いものでございます。私は尊い生命を授かり今が有ること、そして「今できること」をこれから暮らしの中で大切に生きて参ります。

青年僧の皆々様方有りがとうございました。皆様との出会いに感謝いたします。

合掌

宮城県仙台市 現在東京在住 高橋ふみ子

が、次第に打ち解けて会話が弾み、語らいの時間はあつという間に過ぎました。ご参加の皆様に十分に楽しんでいただけたかどうかはわかりませんが、皆様の温かい雰囲気に包まれて楽しくお話をすることことができただけでなく、事前に質問の回答を用意したり、お檀家以外の方のお話を伺つたりすることで、私共にとつて大変貴重な勉強の機会となりました。

講座を振り返ると、事前質問でも当日のお話の中でも、お寺との

付き合いやお墓の維持管理の心配事に関するお話が多くったようになります。本来は人々の心を安らかにするものであるお寺やお墓が、現代人にとって心配の種になってしまっているというのが現状だと思います。そうした心配の種を取り除き、お寺やお墓が先行き不安な時代において安らぎを感じられる場となるために必要なのは、本講座のようなお檀家の皆様と僧侶とのざっくりばらんな語らいの場な

臨済宗大徳寺派大本山・大徳寺で修行し、天台宗の僧籍を持つ町田宗鳳・広島大学大学院教授を講師に迎え、師が提唱する「ありがとう禅」を約30人が体験しました。はじめにわかりやすい図で、人間の意識が顕在、潜在、無意識、意識の四つの構造になっていることを説明しました。人間性の核心には真意識（魂、仮性）という光の塊があり、それを通すレンズ（潜在意識）が歪んだり、曇ったりしていれば、現実というスクリーン（潜在意識）に映し出される現象も、激しくゆがんでしまいます。そこで潜在意識のゆがみを是正し、そ

「ありがとう禅」の実践後、輪になって木魚に合わせて「ありがとう」と何度も唱え、参加者たちは最後に「体があつくなつた」「光がみえた」「感謝の想いがわいた」など、夫々感じたことを語り合いました。



第90回文化講座

「ありがとう 禅」

5月20日(水)午後2時~

れを磨いていけば、目の前に展開する現実が幸福感に満ちたものに変化してきますと説きました。

傷ついた潜在意識を磨くには「ありがとう」と反復発声するだけで良いのです。「ありがとう」という言葉は母音で成り立っています。

この母音の共鳴音が超高周波の倍音を生み出し、それが骨伝導によつて中枢脳を揺さぶり、脳波が顕著に変化するのです。その微細振動が脳だけではなく全身の細胞に及ぶので、真剣に发声さえすれば、初心者でも短時間かつ確実に潜在意識の曇りやゆがみをとることが出来ます。

天台宗東京教区仏教青年会 杜多道宏

「天台宗の 青年僧達と 語らう」

2月18日(水)午後2時~

で、「当日皆様からの質問に対応することができますのだろうか」と不安になりました。そのため、事前に質問事項を集めていたいたところ、案の定、仏事や仏様のことからお墓のことなど様々な質問が寄せられ、その場でお答えできなものも多かったため、事前に回答を用意して当日に臨みました。

当日は冷たい雨の降る中、多くの方にご参加をいただき、まず会場の天王寺様の御本堂で皆様と般若心経をお唱えした後、別室に移動し、ご参加の皆様のテーブルに

僧侶が1、2名ずつ座り、お話が始まりました。

平成27年2月18日(水)に開催された第88回文化講座「青年僧達と語らう」に際し、私を含め5名の青年僧を温かくお迎えいただきました。厚く御礼申

話す機会のない僧侶とざっくばらんに語らう機会ということで出講のお話をいただきましたが、文化講座としても初の試みのようですし、かつ浅学非才な我々にとってもあまり経験のない機会でしたので



どなたでも
参加
できます!

ネパール義援金ご協力の御礼



「4月25日にネパールで、大地震が起こりました。ネパールにはお祈りさまのお生まれになったルンビニーがございます。テレビなどでその被害惨状につきまして逐次報道されておりますが、現地に行っている支援団体などの報告によりますと、時を経るにつけ益々その深刻さは増しています。

つきましては私たち連盟も少しでも、ネパールの被災者の方々のお役に立ちたく、皆さまに義援金のご協力をお願い申し上げます。お預かりする義援金は、当連盟の災害救援資金とともにネパールに直接お届けいたします。」

と義援金のご協力をお願いしましたところ、たくさんの方々のご協力をいただきました。

6月15日現在、**義援金は203万円**にもなり、連盟で日頃皆様からお預かりいたしております「心の募金」の20万円とともに、ネパールの**「首相災害救援基金」**という口座に直接振込させていただきました。

皆様の淨財、義援金が、**真にネパールの被災者の方々のために使われるよう**に願い、そのために救援活動等でご多忙な、ネパールの「ルンビニホテル笠井」の笠井さま始めスタッフの皆さまのご尽力をいただきました。本当にありがとうございました。

またご協力をいただきました**皆さまのご厚意に深く感謝いたします**とともに、ネパールの**早期復興**を心からお祈りいたしております。



ネパール大震災義援金協力者名(順不同・敬称略)

飯田亘子	田嶋澄子
岩脇孝子	上原桂子
大橋百合子	木南鈴子
鈴木トヨ子	小川阿希美
花岡真理子	木田正子
梨本三千代	村田寛子
本多端子	山口偉理子
佐々木公子	早水日秀
篠田節子	東伏見具子
河原時子	安井豊子
永崎亮安	長尾節子
齋藤昭俊	白井八重子
望月裕子	石上幸子
望月みゆき	小峰立丸
本多昭子	小峰喜和子
村田良枝	長岡道子
六條照瑞	大堀カヨ
日野西光尊	板垣和代
浅井やゑ	吉橋勝寛
荒川昌夫	本多良之
岩田叡子	倉佳子

孤嶋東子	川名庸子
富田記代	林房江
小林牧子	稻山靈芳
篠田千津香	中込節子
鏡島真理子	荒畑静子
木田正子	加用稔子
村田寛子	清水則子
山口偉理子	須賀淳子
早水日秀	東伏見具子
田嶋澄子	安井豊子
上原桂子	松井百合子
木南鈴子	平林宣子
小川阿希美	川村博子
木田正子	水本智恵
村田寛子	逸見秀子
山口偉理子	上保敏子
早水日秀	小峰立丸
田嶋澄子	小峰喜和子
上原桂子	長岡道子
木南鈴子	大堀カヨ
小川阿希美	板垣和代
木田正子	吉橋勝寛
村田寛子	本多良之
山口偉理子	倉佳子
川名庸子	孤嶋東子
林房江	富田記代
稻山靈芳	小林牧子
中込節子	篠田千津香
荒畑静子	鏡島真理子
加用稔子	木田正子
清水則子	村田寛子
須賀淳子	山口偉理子
東伏見具子	早水日秀
安井豊子	田嶋澄子
松井百合子	上原桂子
平林宣子	木南鈴子
川村博子	小川阿希美
水本智恵	木田正子
逸見秀子	村田寛子
上保敏子	山口偉理子
小峰立丸	早水日秀
小峰喜和子	田嶋澄子
長岡道子	上原桂子
大堀カヨ	木南鈴子
板垣和代	小川阿希美
吉橋勝寛	木田正子
本多良之	村田寛子
倉佳子	山口偉理子

第92回

「彫ることは祈ること(仮題)」

【講師】山高龍雲大仏師 【日時】9月16日(水)午後2時~

一体の仏像がこの世にうまれるためにたくさんの要素がひとつとなります。良い木を求めるのもそのひとつ。美しい木目に刻まれた大自然の息吹と歴史を木の香の中に聴きながら仏

様の慈しみの心をかたちに表さんとすること。そして、そのかたちを通して明らかなメッセージを伝えること。それが仏師の毎日の仕事と言えます。

講師
profile

昭和23年香川県に生まれる。20歳の時、父・仏師 山高松雲に師事、仏像彫刻の道に入る。大本山須磨寺大仏師。兵庫県神戸市に工房を構え、全国の寺社にお仏像をお納めするとともに現在東京、大阪、神戸、福岡など全国約二十カ所の講座にて仏像彫刻を指導。

第93回

「知らないと怖い!成年後見と高齢社会へのあわてないための備え」

【講師】柴田龍太郎弁護士 【日時】10月21日(水)午後2時~

最近よくある身近な事例をお話しします。例えば、「ある日Aさんは脳梗塞で倒れてしまい意識不明になってしまいました。そこで、家族が入院費のためにAさんの預金を下ろそ

うとしましたが、銀行は本人確認ができないということで応じてくれません。」さあ、どうしますか?このような場合に備えて今何ができるでしょうか。

講師
profile

昭和49年 早稲田大学法学部卒業。昭和53年 司法試験合格。昭和56年 検事任官(東京地検・徳島地検)。昭和59年 弁護士登録。平成10年度から平成12年度まで、最高裁判所の委嘱により最高裁判所司法研修所弁護教官。平成17年度から平成19年度まで、法務大臣の任命により司法試験考查委員(憲法)。毎年、全国において「不動産取引」や「相続」をテーマに100回前後の講演活動をしている。

第94回

「青年僧と語らう—浄土宗—」

【日時】11月18日(水)午後2時~

第2回目となります。今回は社会に積極的に目を向け、活発にさまざまな活動を重ねている浄土宗の青年僧の方々にお願いしました。

仏教のことや仏教行事、そのほか聞いてもらいたいこと、言ってみたいことなどを楽しく語らう会です。

高校生活を通して得たものと将来について

私は、高校入学まで持病を抱えており、入学当初は勉学をはじめ、部活動や学校行事に全力で取り組むことが困難な状況にありました。しかし徐々に高校生活に慣れることができ、何事にも取り組むことが可能になるまで回復しました。その時期から日々、一生懸命に取り組んだ結果、定期テストでの点数を大幅に伸ばすことができ、部活動でも、高校最後の高校総体では、東北大会に出場することができました。この経験から、私は何事にも努力を続けて取り組むことで、必ず良い結果が出るということを実感し、努力するということは、これから的人生で生かしていきたいと思います。

また、文化祭や体育祭などの学校行事にも積極的に参加することができ、高校生活すべてがよい経験であり、良い思い出として、心に刻むことができました。

私は将来、地元のみならず、東日本大震災で被災した地域の復興に携わる職業に就きたいと考えています。地方公務員として町全体の復興に携わっていく方法や、地域産業に直接関わっていき、産業の復活から復興していく方法など、様々な方法で被災した地域の復興に関わることができます。どの分野で、どのように私が関わっていくことが、自分自身にとっても、社会にとっても、良い方向に傾くのかは、これから大学に入學し、様々なことを学んでから決定したいと思います。

大学入学後は、高校で学ぶことができたことを生かしていき、勉学だけでなく、ボランティア活動やサークル活動などあらゆる分野において、全力で取り組んでいき、一つでも多くのことを学び、また、東日本大震災で経験したことを忘れずに、大学卒業後に、復興の力になるという自身の夢を達成することが大学生活での目標です。

今後とも、引き続きご支援ご厚情を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

あおぞら
奨学基金
ご協力の
お願い

毎月の募金 → 頑張る生徒を応援する「奨学生センター」

- ◆1ヶ月1万円の支援金によって、1人の奨学生をサポートいただきます。
- ◆ご友人・団体様でのグループ支援も可能です。例えば、4人では2,500円、10人集まれば1,000円で支援できます。
- ◆センターのみなさまには、奨学生から年間2回のお便りが届きます。

任意の募金 → 「あおぞら奨学基金」事業を応援する

- ◆任意の金額を募金いただきます。
- ◆募金は奨学基金事業のほか、東日本大震災によって困難を抱える生徒を支援する活動に充てられます。

お問い合わせは事務局まで ☎ 03-5772-0677

Letter from a scholarship students



あおぞら奨学基金のご報告

当連盟では、東日本大震災で被災した高校生の授業料以外の必要な学習費用を支援しています。皆さんにご支援いただいている高校生2名が、今年無事卒業いたしました。ありがとうございました。2人に「将来の夢」を語ってもらいました。「夢」に向かって、しっかりと道を歩き始めているようです。がんばれ!!

石巻市立女子高等学校 女子

将来の夢

高校在学中において、ご支援して頂きありがとうございました。おかげで、有意義な学校生活を送ることができました。

私の将来の夢は、アパレルのショップ店員です。

なぜなら私は、洋服が好きで、コーディネートを考えたり、オシャレに着こなしたりすることで楽しい気分になるからです。その大好きな洋服と関わりながら、自分の接客を通してお客様に笑顔になってもらいたいし、自分自身のステップアップにもなると思ったからです。お客様に洋服を快適に選んで頂くための店内清掃やお客様の立場に立って、お客様の好みやどのような商品を求めているのかなど引き出スコミュニケーション能力と臨機応変な対応をしていきたいと思います。

そのためには、アルバイトからスタートし、コミュニケーション能力などの獲得や最新の流行ファッションを勉強するなどして、正社員にステップアップし、一流のアパレルショップ店員になりたいです。そして目標としては店長やエリアマネージャーになりたいと思っています。

また、それが実現したら、母子家庭で家計が苦しいうえ、持病を持っている母が、グなど欲しいものを買ってあげたり、旅行につれていったりなど、少しでも親孝頃張り、夢を叶えたいです。

